

人口と世帯数

55年12月1日現在

総人口 13,874人

男 6,889人

女 6,985人

世帯数 3,181戸

広報



たまっくり

第245号

昭和55年12月15日

(毎月1回発行)



さる11月23日谷島地区の祭礼に、谷島小若連のこどもたちによる「タルみこし」が地区内をねり歩きました。ことし初めて行われたこの祭礼行事に、こどもたちは祭ばんてんを着ながら「ワッショイ、ワッショイ」とかけ声も威勢よく、お祭り気分を盛りあげました。

タルみこしで
ワッショイ!

谷島小若連

ことしの主なできごと	2・3
年末年始交通事故防止県民運動	4
お年寄りに手料理を	5
ボランティア・2題	6
農用地が有効に活用できます	7
財政事情書	8・9
国勢調査結果の速報	10・11
おしらせ	12・13
くらしの豆知識	14

主な
内容

'80/12月号

ことしの町の主なできごと

——新庁舎の完成などが——

昭和五十五年も、あとわずかを残すのみとなりました。この一年間をふりかえってみると、町にとってことは、町制二十五周年をむかえ、さらに近代的な新庁舎が完成するなど、意義深い記念すべき年であったように思います。そこで「広報たまつくり」からみた、ことしの町の主なできごとをひろってみました。

新議会がスタート(一月)

昨年の暮に町議会選挙が行われ、改選後初めての議会が一月十一日に開かれました。議会では正副議長をはじめ常

任委員会の正副委員長および所属議員が決められ、そのほか町の監査委員が選任されました。

『みんなで言う社教の集い』の町集会を開催(二月)

昨年八月から県の指定を受けて地域ぐるみの運動を展開している『みんなで言う社教の集い』の町集会が、一月十八日に中央公民館で開かれました。集会には、西谷・宿・泉・浜・沖洲・芹沢の六指定地区の実践委員をはじめ関係者や一般の方々三百七人が参加し盛況となりました。

循環器検診に六千人が受診(二月)

脳卒中、心臓病、糖尿病などの「成人病」を早期に見つけ、予防するための「循環器検診」が二月十八日から二月

2 議案を可決

第7回臨時議会

▼玉造町図書館新築工事請負契約
町図書館新築工事の請負契約が次のとおり決まりました。
○契約の目的 玉造町図書館新築工事
○契約の金額 一億五千万円
○契約の相手方(日立市幸町三丁目三番六号) 株式会社山形

工務店
○工期 契約の日から昭和五十六年三月三十日まで
▼一般会計予算の補正
歳入歳出予算の総額に、それぞれ十七万円を追加し、予算総額が三十二億二千八百六十二万四千円となりました。

二十七日まで、母子健康センターなど町内六か所で行われたべ六千人が受診しました。検診は、問診、血圧および体重測定、尿検査、貧血検査が行われ、異常のあった七百五十三人が二次検診をうけました。

『特定防衛施設関連市町村』に指定(三月)

ことしの三月十八日に、当町が国から『特定防衛施設関連市町村』の指定を受けました。いままで、防衛庁より町内各施設の防音工事をはじめ

さまざまな生活環境の整備に補助をうけておりました。指定をうけたことにより今後は町が公共用の施設整備を行うとき「特定防衛施設周辺整備調整交付金」がうけられることになり、生活環境等の整備が、さらに充実されることになりました。

第一回区長会議を開催(四月)

昭和五十五年当初の区長会議が四月三十日に中央公民館で開かれました。今年度の町の事業計画を説明し協力をいただくために開いたもの



300人が集った社教の集い(1月)



「特定防衛施設関連市町村」に指定(3月)。写真は好評の家庭住宅防音

で、同時に区長会総会も開かれ、区長会長に新宿区長の佐山淳氏が選ばれました。

助役に竿台氏を選任(四月)

四月二十八日に開かれた第三回臨時議会で、助役に竿台光雄氏(宿)が選任されました。竿台氏は三期目の就任となります。

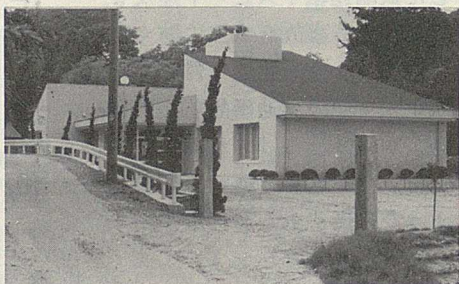
荒宿農村集落センターが完成(五月)

新しいコミュニティづくり目ざして工事が進められてきた「荒宿農村集落センター」が、約二千三百万円をかけて五月十七日に完成しました。

玉川地区学習センターが完成(五月)



第一回区長会議を開催(4月)



玉川地区学習センター(5月)



町のシンボル新庁舎(9月)



町制25周年新庁舎落成記念式典(11月)



「演芸広場」の公開録音を実施(11月)

昨年の十二月に着工した玉川地区学習センターが、五月十一日に完成し竣工式が行われました。学習センターとして町内五番目に完成したもので、建物面積が四二八・六五平方メートル、事業費は七千九百二十五万円でした。

郡民体育大会で総合優勝(七月)

七月六日に、北浦中学校を主会場に行われた「第二十八回行方郡民体育大会」で、三年ぶりに当町が総合優勝しました。昨年、一昨年と不振だった当町は総合優勝奪還目ざして各選手が頑張り、見事伝統を復活させました。

新庁舎が完成し、庁舎移転を

行方(九月)
昨年度から建設を進めてきた新庁舎が完成し、九月四日から六日までの三日間、旧庁舎から新庁舎への移転を行いました。完成した新庁舎は本工事費が六億二千万円、三階建て一部二階建てのモダンな造りで、今後は町の中心的なシンボルとして行政サービスの拠点になります。

第十九回産業文化祭を盛大に開催(十一月)
恒例の産業文化祭が、十一月二・三・四の三日間、盛大に開催されました。ことしは町制二十五周年・新庁舎落成記念式典が行われるなど例年になく盛大な産業文化祭となりました。

町図書館建設に着工(十一月)
玉造町図書館建設の起工式が十一月二十一日に行われました。図書館は鉄筋コンクリートづくり二階建てで、総工費が一億五千万円。来年三月の完成予定です。

『町制二十五周年・新庁舎落成記念式典』を挙行(十一月)
「町制二十五周年・新庁舎落成記念式典」が、産業文化祭の初日の十一月二日に、玉造小学校体育館で盛大に行われました。式典には竹内県知事をはじめ、来賓者や招待者五百人が出席し、町発展に寄与された功労者ら二百六十一人が表彰されました。

NHK「演芸広場」の公開録音を実施(十一月)
町制二十五周年を記念してNHK水戸放送局と共催で、NHKラジオ番組「演芸広場」の公開録音が、十一月二十二日に玉造工業高校体育館で行われました。三遊亭四右、大空みつる・ひろしなど人気落語家、漫才家が出演しました。

年末年始 交通事故防止県民運動

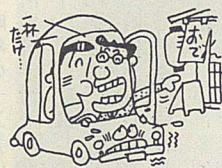
年末年始をむかえ、忘年会や新年会など何かと酒を飲む機会が多く、酒酔い運転や酒気帯び運転による交通事故がふえてきます。そうした飲酒運転やスピード違反などを追放し、事故を未然に防ぐため12月10日より来年の1月10日まで「年末年始の交通事故防止県民運動」がくりひろげられています。そこで、酒を飲むと運転操作にどのような影響があらわれるか——ともに考えてみましょう。

運転技能はガタ落ち

日本大学医学部の上野佐教授は、埼玉県警察本部交通指導課と共同で「酒百八十ミリリットル（一合）——ほろ酔い時の運転実験」を行いました。

この実験は、運転免許を持つ二十〜三十代の男性の中から酒百八十ミリリットル（一合）——ほろ酔い時の運転実験を行いました。

気分になる程度の人三十人を選んで、空腹時三十分間に日本酒百八十ミリリットルを飲んでもらい、自動車教習所内のコースを実地に運転させたものです。その結果、飲酒後三十分で運転技能に対する影響が最も強くあらわれ以後、徐々に回復しましたが、二時間後でもまだ飲酒前の状態に完全に回復しませんでした。



徐々に回復しましたが、二時間後でもまだ飲酒前の状態に完全に回復しませんでした。

酔いはじめの飲酒後三十分が極度に悪く、踏み遅れがめだつたほか、脚部の動作があらわしく乱暴になりました。その後、徐々に回復の傾向を示しましたが、二時間たつてもまだ飲酒前の状態に回復しませんでした。

アクセル・クラッチの踏み方、進、エンスト、変速チェンジなど、運転の的確性を欠きなかでも脚部の運動機能の低下がみられました。



スピード

スピードの出し過ぎがめだちました。その上、通行区分を無視したり、交差点では方向指示器の出し忘れが多く、さらに安全の確認がおろそか



ハンドル操作

酔いはじめは、ふらつき運転や歩道に乗り上げたり反対車線に入るなどの「脱輪」が多く見られました。その後は徐々に回復し、ハンドル操作が大胆になって危険になるほどの腕の運動機能の低下を示しました。以上の実験結果からも



町内に「有害図書追放」

のタテ看板

さる十月三十日に、「青少年育成町民会議」「町青少年問題協議会」「玉造ロータリークラブ」の三団体共同により、町内五カ所に「有害図書追放」の立看板が設置されました。青少年育成町民会議では六つのモデル部落を中心に非行化防止の立看板をたて、地域ぐるみの育成活動を行っており、今回の有害図書追放の立看板設置も事業活動の一環として行われ、町青少年問題協議会と玉造ロータリークラブが賛同し、たてられたものです。設置されたのは、藤井（二カ所）泉・上山・沖洲のそれぞれ道路わきです。



飲酒運転の防止を！

12月10日→1月10日まで実施

お年寄りに手料理を

— 和らぎ会 —



「この日が楽しみで、となごむお年寄り」

毎年恒例になっている和らぎ会（川井美智子会長）と、新田親和会（理崎正巳会長）の交歓会が、ことしも十二月一日に新田地区集会所で行われました。

和らぎ会のお母さんたちがつくった手づくりの料理を食べながら、お年寄りたちは一日歌や踊りで楽しみました。交歓会では、お母さんたちがお年寄りたちとお互いのふれあいをもち、いたわりの心をもとうとはじめられたもので、お年寄りたちはこの日がくるのを楽しみにしていただけた。

どの顔も笑顔があふれていました。

川井さんより「みなさまのおいでを心からお待ちしておりました。やはりなんといつても部落の豊かさ家庭のあたたかさが大切。これからもう指導をお願いします。」との招待のことばがあり、これにこたえて親和会の理崎会長は、「われわれ老人も和らぎ会の好意に甘えることなく、だれにも好かれる、喜ばれるお年寄りになるよう頑張りたい。」との謝辞をのべました。

今回の交歓会は「省エネルギー」がさげばれていることから、「くらしの会」会員の理崎いねこさんがパネルをつか

図書館が着工に

玉造町図書館建設の起工式が、十一月二十一日に中央公民館敷地内で行われました。図書館は鉄筋コンクリート造二階建て、総工費が一億五千万円で中央公民館敷地内に建てられます。



起工式の様子

床面積が九四六・〇一二五平方メートルで、一階は開架書庫、閉架書庫のほか、閲覧室、児童コーナー、新聞雑誌コーナーなどがあり、二階は主に資料展示室となっています。

稿 寄

町制二十五周年を祝う

十一月二日には、恒例の産業文化祭が催され、それに加えて町制二十五周年と役場新庁舎落成の記念式典が盛大に挙行され、まことにめでたい日でありました。

町村合併のあの頃の思い出は、戦後の公職追放、六三制の実施、農地改革等に革命的なことが行われ、民主化が徐々に進行していた頃で、町村

合併も国の指導によって機運が高まってきました。

その当時、私は麻生の地方事務所に勤務しておりました。村合併を進める時期ではないかと話したことがありました。その時の構想は、行方・小高・要・玉川の四か村が合併すること一案。だが、行方郡全体を見渡して要村を武田教育

部会から離すということには難点（武田・秋津の二か村が鉾田町に合併するならば別として）があり、また秋津村が麻生中心であることは将来住民として極めて不便であるから、秋津村は鉾田町に合併するのが極めて自然な形ではなからうか。とすれば、あと

の十九町村はやはり教育部会単位に合併することが望ましい形となることも語った。その後、香澄の須田村長さんが行方郡はまともって水郷市にしようという提唱もあつ

たり、構想の段階ではいろいろの案が検討されたものでした。

当時玉川村は郡司村長さんであつたが、大筋として玉造部会では一体の合併が望ましいと進言したのでしたが、各町村長、議長、各界の人々が一致団結して、その方向に協議を進め、大変な努力によって住民協力の姿勢で極めて円満に合併の実現を見たことはよろこばしいことであつた。

うちに発展し、住民も一体にとけ合つてさらに躍進を祈念できたことは、将来の幸福を招来できることでしょう。

住民の代表である議会議長さんや、各種団体の役員の方々が機関車の役割を果たして、坂本町長さんを中心に、融合前進の光景は祝着な次第、これから町村壮年期を迎えることですから、町のみなさんの幸福と繁栄を心から願う次第です。

飯田喜市
（水戸市在住）

歳末助け合い不用品交換バザー

玉造町生活大学

シリーズ⑥

玉造町生活大学（斎藤美代江委員長）では、毎日の生活の中で資源を大切にして省エネルギー運動を積極的に展開しよう”を目標にかかげ、毎月の学習と実践活動を行っています。

産業文化祭の初日には、中



生活大学受講生のみなさん

供され、当日はバザー開始後二時間たらずに全部が売り切れるほどの盛況ぶりでした。

おもに、衣類や台所用品などの家庭用品が多く、なかでもふとんカバーや座ぶとんカバーが人気のマトで当日の売上げ総額七万三千九百十円は歳末助け合いとして善意銀行へ寄付されました。

生活大学では、生活のなかに「リサイクル（再生）」を見直そうという

商工（会）だより

年末年始大売出し始まる

— 細川たかし演歌まつり —



ことしも、年末年始大売出しを実施いたします。今回の大売出しの企画はつぎのとおりです。

「歌謡ショー 細川たかし・牧村三枝子演歌まつり」

▼売出し期間
十二月二十日
十一月三十一日

▼招待日
三月二十二日（日）

いままでは、年末年始の売出しとして招待

ことで、学習のなかに衣料品の再利用を行ったりしており、今後は廃品回収なども行う予定にしています。

歳末 防犯の心得

空き巣ねらいにご用心

空き巣ねらいから、家を守るためには、まずカギをかけることです。「なんだ、簡単だ」と思われた方もおられる

旅行を企画しておりました。しかし、招待者数が制限されてしまうというので、ひとりで多くの消費者の方々に感謝をこめ喜ばれる売出しを企画いたしました。売出し期間をお見逃しなく加盟店にてお買い求めくださいますようお願い申し上げます。

北島三郎ショー

開催される

去る十一月十六日、北島三郎ショーが開催されました。北島三郎外、新人の山本譲二、美原圭子、原一平等が歌と笑いで会場をわかせました。

なお、公演は正午と、三時の二回公演で約三千三百余名のみなさんが、ご来場になりました。

今年も大変お世話様になりました。来年も、特段のご指導ご協力を節にお願いすると共に、皆様方が良い年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。

決算書類の準備は順調ですが、余裕を持って申告が出来るように、早めにまとめて置きましょう。

年末調整はお早めに！

年末調整の手続きは、おすみでしょうか。

一月十日迄に、税務署へ提出して下さい。期日迄に報告の出来なかった方については、延滞金が付き、税務署より延滞納入通知が来てしまいますので、ご注意下さい。

かと思いますが、これが意外とできないのです。

二、三日家を留守にするとなると、普通だれでもカギをかけるますが、ちよつと近所に買い物”などというときは、ほんの五、六分だからという軽い気持ちから、カギをかけずに出かけたりするものです。

昭和五十四年中の空き巣ねらいの約半数は、カギをかけ忘れた場所から侵入していま

農業委員会だより
農用地が有効に活用できます

安心して貸し借りを！

※農地関係三法が成立・施行
「農地はあるが働き手がない」、「もつと耕作地を広げたいが土地がうまく借りられないだろうか」……こんな悩みをお持ちの方はありませんか？ 遊んでいる農地を有効にいかし、やる気のある人が農地を十分活用できるように、このほど農地関係の三つの法律が施行されました。

三つの法律とはへ農用地利用増進法、面倒な手続なしで農地の貸し借りが出来ます。



し借りが出来ます。

働き手がなく荒れている農地等を貸せるものなら貸したいが、貸してしまうと返してもらえなくなってしまう……こんな心配ごとをよく耳にしますが、この事業でこの心配がなくなり、安心して貸し借りが出来ます。

※契約期間満了時には町や農業委員会が責任をもって返還小作料も町で定める標準小作料を目安に、一定年数を決めて貸し借りすると解約するときに農業委員会の許可もいりなく、離作料の心配もいりませんし、町や農業委員会が責任をもって確実に返しても出来ます。又、再び貸すときも希望に添うようお世話します。

※全農地が対象
いままでは、農振法の農用地という限られた農地が対象でしたが、こんどから農振法に入っている全農地が対象になりました。

※貸出奨励金が支払われます。
農用地等を貸す場合、小作料金とは別に十アール当たり契約期間が三年～五年であれば一万円、契約期間が六年以上の場合には二万円の奨励金が支払われます。

※この事業には次の方々が町より委嘱されておりますので、お気軽にご相談ください。（敬称略）

○玉川地区↓鈴木勝雄、関野英夫、関野仁一、根崎勇、田中任、田中久元、飯島秀雄、明智芳正、金塚淳

○手賀地区↓磯山忠相、林忠明、小沼利満、松金勇、理崎宗一、田宮利弘、小津栄、中島泰幸、高塚利明、堀田市郎

○玉造地区↓金井新次郎、小島信男、菅谷真、田中照雄、栗山豊太郎、後藤榮、小野口明、成島佐男、小松崎毅

○現原地区↓松山三郎、鈴木昊、大曾根喜好、荒木田盛、平間精二、鈴木寅次郎、宇ツ木資成、谷山照

○立花地区↓加固進、羽成忠男、関口圭一、小沼典章、羽生善胤、羽生唯夫、大崎清司、関口昭

くわしいことは農業委員会事務局におたずねください。

ヤング・レディ

樽見美智子さん

(21歳・若海)

ナイルス部品株式会社

玉造工場勤務



ご家族は
「祖父母、両親、妹、私の6人」

お仕事は
「総務で受付と経理をしています。お客様に不愉快な感じを与えないように気をつけています」

趣味は
「あみもの、手芸、読書。旅行も好きですがなかなか行く機会がなくて…」

ご自分の性格は
「短所は消極的（内気）なところ…。長所はこまかいことや一つのことに集中するじっくりやるタイプのところだと思いますが…」

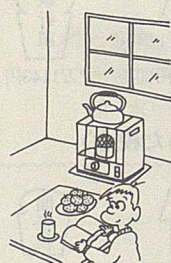
いま一番したいこと
「とくべつないですね」

好きなことは
「『思いやり』という言葉が好きです」

理想の男性像
「自分の考えをしっかりとっている人。表面的にはそうでなくても、内に秘めたやさしさのある人」

結婚
「もう年頃ですので、いいと思っています」

1月1日は省エネルギーの日



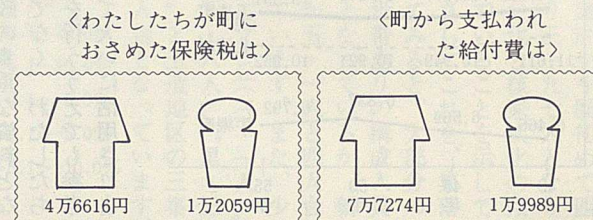
暖房機器の置き場所に工夫を

毎月1日は「省エネルギーの日」です

国民健康保険事業の歳入歳出状況

歳 入				歳 出			
科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	科 目	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
国庫支出金	3億3667万6千 ^円	1億3704万8千 ^円	40.7 [%]	保険給付費	5億8134万3千 ^円	1億9225万8千 ^円	33.1 [%]
国 保 税	2億2002万1千	1億1598万1千	52.7	総 務 費	3557万9千	1545万4千	43.4
繰 越 金	5919万5千	7809万6千	131.9	諸 支 出 金	287万2千	277万	96.4
財 産 収 入	277万2千	277万	99.9	保健施設費	102万	2万4千	23.5
諸 収 入	224万3千	115万3千	51.4	予 備 費	100万	0	0
県 支 出 金	90万	0	0	合 計	6億2181万4千	2億1050万6千	33.9
使用料及び 手数料	7千	2千	28.6				
合 計	6億2181万4千	3億3505万	53.9				

昭和55年9月30日現在
 国保世帯数 2,488戸
 被保険者数 9,618人



簡易水道事業の歳入歳出状況

歳 入				歳 出			
科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	科 目	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
使用料及び 手数料	4639万4千 ^円	2098万5千 ^円	45.2 [%]	総 務 費	4129万5千 ^円	1293万4千 ^円	31.3 [%]
繰 入 金	3046万5千	2000万	65.6	公 債 費	3861万9千	1911万3千	49.5
分担金及び 負担金	750万	330万9千	44.1	簡易水道 事業費	782万	217万8千	27.9
繰 越 金	415万	939万3千	226.3	予 備 費	100万	0	0
諸 収 入	22万5千	4万5千	20.0	合 計	8873万4千	3422万5千	38.6
合 計	8873万4千	5373万2千	60.6				

昭和55年9月30日現在
 水道加入世帯 2,728戸
 給水人口 12,139人

公 債 の 状 況		加入世帯		給水人口	
区 分	金 額				
額 面	5億2938万4千円				
借入額	0				
支払額	161万6千				

土地改良事業の歳入歳出状況

歳 入				歳 出			
科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	科 目	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
県 支 出 金	1100万円	0円	0%	事 業 費	2048万円	0円	0%
賦 課 金	900万	0	0	合 計	2048万	0	0
繰 入 金	48万	0	0				
合 計	2048万	0	0				

財 政 事 情 書

昭和55年4月1日～昭和55年9月30日

「財政事情書の作成及び公表に関する条例」の定めるところにより、昭和55年4月1日から昭和55年9月30日までの町財政事情書が、10月29日に公表されましたので、ご紹介します。

一般会計の歳入歳出状況

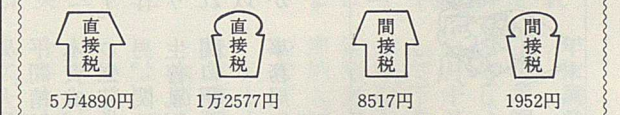
歳 入				歳 出			
科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率	科 目	予 算 額	支 出 済 額	執 行 率
地方交付税	8億4020万 ^円	6億3872万1千 ^円	76.0 [%]	総 務 費	8億2572万6千 ^円	2億8342万6千 ^円	34.3 [%]
国庫支出金	4億2111万8千	5349万2千	12.7	教 育 費	5億1562万6千	1億5522万1千	30.1
町 債	4億1980万	0	0	民 生 費	5億1034万3千	1億6682万1千	32.7
町 税	3億8406万5千	2億157万3千	52.5	農林水産業費	4億6150万	6691万	14.5
諸 収 入	3億8365万7千	1億4327万8千	37.3	土 木 費	3億8800万8千	8483万7千	21.9
県 支 出 金	2億6752万5千	1517万7千	5.7	公 債 費	2億724万	9551万4千	46.1
繰 入 金	1億5000万	0	0	衛 生 費	1億1615万5千	5805万6千	50.0
繰 越 金	1億2618万6千	1億8312万5千	145.1	消 防 費	9497万9千	4139万9千	43.6
財 産 収 入	5747万3千	650万5千	11.3	議 会 費	6986万3千	3271万5千	46.8
地方譲与税	5200万	1363万6千	26.2	商 工 費	827万7千	213万3千	25.8
自動車利用 税交付金	3400万	1293万7千	38.1	予 備 費	300万	0	0
寄 附 金	2550万	1550万	60.8	合 計	32億71万7千	9億8703万2千	30.8
使用料及び 手数料	1302万3千	620万3千	47.6	繰越明許費	3214万5千	2201万	68.5
娯楽施設利 用税交付金	1300万	521万4千	40.1				
分担金及び 負担金	1152万	580万	50.3				
交通安全対策 特別交付金	165万	0	0				
合 計	32億 71万7千	13億 116万1千	40.7				
繰越明許費	3214万5千	1176万5千	36.6				



町 税 の 状 況

科 目	予 算 額	収 入 済 額	収 入 率
固定資産税	1億7092万3千 ^円	1億64万8千 ^円	58.9 [%]
町 民 税	1億3960万8千	6515万5千	46.7
たばこ消費税	4339万8千	1448万1千	33.4
電 気 税	1750万	1259万6千	72.0
特 別 土 地 保有税	648万9千	212万2千	32.7
軽自動車税	614万6千	657万1千	106.9
木材引取税	1千	0	0
合 計	3億8406万5千	2億 157万3千	52.5

〈わたしたちが町におさめた税金〉



公 債 の 状 況

区 分	金 額
額 面	15億9205万4千円
借入額	1090万 円
支払額	4437万 円

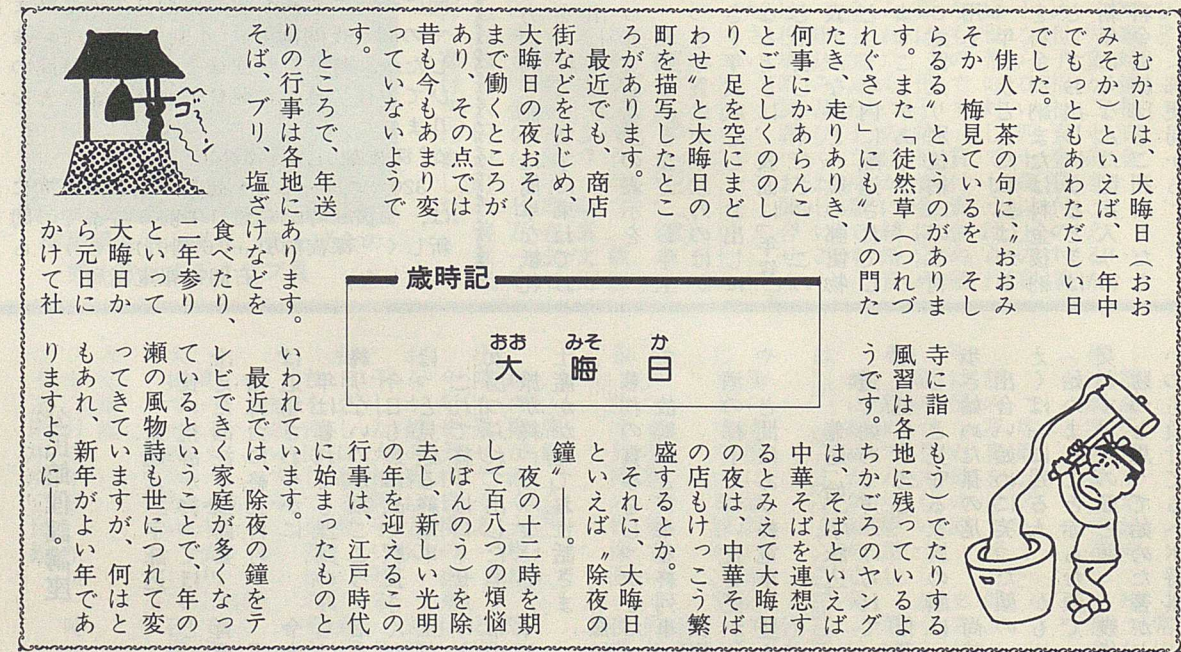
50万803円

11万4751円

(減少)

※新田については、下の池を含んでいる。

(昭和50年～55年)



次に町内三五集落のそれぞれ、人口増減をみてみると、人口が増加したのは一六集落で残り一九集落のうち一六集落が減少。人口増減のそれぞれ上位の集落は表3のとおりです。玉造地区では一三集落中、緑ヶ丘、玉造横須賀、諸井、内宿を除く九集落が減少しています。とくに、横町のに減少率は八・三パーセントにもなっています。逆に増加数、増加率とも極端に高いのが、緑ヶ丘です。緑ヶ丘は世帯増加数、増加率でも高くなっています。

昭和55年国勢調査結果の速報

前回と比べて人口・世帯ともに微増

する10月1日に全国いっせ
 いに行われた『昭和55年国勢
 調査』の結果の速報がわかり
 ましたので、その概要をご紹
 介します。結果によると、当
 町の人口総数は13,551人（男
 6,073人、女6,878人）、世帯数
 が3,167世帯でした。人口、世
 帯ともに前回よりやや増えて
 いることと、全体的にみて世
 帯の細分化や核家族化が徐々
 に進んでいることが特徴とし
 てあげられます。

国勢調査は、五年ごとに行われる国の最も基本的なかつ大規模な調査です。今後国の

政治や行政の貴重な資料となるばかりでなく、わたしたちの町行政を行ううえでも参考資料として大いに活用されます。

Year	潮来町 (Chamuramachi)	麻生町 (Masuimachi)	玉造町 (Tamazaki)	北浦村 (Kitamura)	牛堀町 (Ushijima)
40年	14,129	18,852	17,111	11,611	6,466
45年	18,436	18,063	13,577	10,949	6,569
50年	20,670	18,194	13,361	10,921	6,837
55年	22,281	18,155	13,551	10,952	6,792

ト（一九〇人増）は、郡内では潮来町の七・八パーセント（一、六一一人増）増に次いで二番目の増加率となっている。（図1）。

また、当町について男女別をみると、前回に比べ男子一三八人（二・一パーセント）女子五二人（〇・八パーセント）の増加となっています。

この結果、性比（女一〇〇に對する男の割合）は九七・〇となり、前回の性比九五・七を一・三ポイント上回りまし

昭和五十五年国勢調査結果による当町の人口は一三、五五一人となり、前回（昭和五十年）のときが一三、三六一人であったのにくらべ、一九〇人、率にして一・四パーセント増えました。

昭和四十五年（マイナス三・九パーセント）、五十年（マ

今回の調査には、当町でも六十五名の調査員が調査票の配布や回収などにお骨折りをいただきました。

一九〇人増え
た町の人口

た (表1) 世 帯 数

		40 年		45 年		50 年		55 年	
		世帯数	—	世帯数	伸率	世帯数	伸率	世帯数	伸率
世 帯 数		2,885	—	2,988	3.6	3,046	1.9	3,169	4.0
1 世 帯 当 り 人 員		4.90		4.54		4.39		4.28	
参 茨城県 平 均		4.59		4.22		3.97		3.69	
考 行方郡 平 均		4.99		4.58		4.30		4.19	

(表2) 地区別人口・世帯

地区	総数	昭和45～50年		昭和50～55年		世帯数	1世帯当り 構成人員
		増加数	増加率	増加数	増加率		
玉川	2,244人	△ 91	△4.0%	42	1.9%	504	4.45
手賀	2,105	△ 36	△1.7	32	1.5	449	4.69
玉造	3,973	92	2.4	24	0.6	1,002	3.97
現原	2,387	△ 102	△4.2	32	1.4	556	4.29
立花	2,842	△ 79	△2.8	60	2.2	658	4.32
計	13,551	△ 216	△1.6	190	1.4	3,169	4.28

(Δ はマイナス)

核家族化の傾向が徐々に進んできていることを示しています。

進む、世帯の細
分化と核家族化

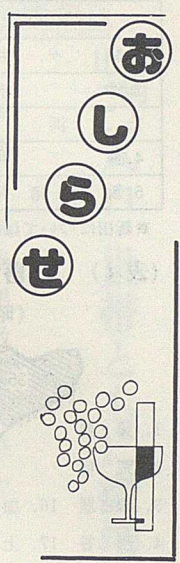
世帯数についてみると、今回の調査では三、一六九世帯で前回のときの三、〇四六世帯より、一二三世帯（四・〇パーセント）増えています（表1）。これは、前回の増加率一・九パーセントを二・一ポイント、増加数でも前回の五八世帯を六五上回る結果となりました。

また、一世帯あたりの人員は四・二八人で、これは前回のときの四・三九人を〇・一人下回り、世帯の細分化と

人口増では「緑ヶ丘」
減少は「横町」「里」など

町内五地区の人口は表2のとおりで、今回は各地区とも増えています。特に、前回増加率の高かった玉造地区が今回その増加率を一・八ポイント下回ったのに対し、他地区においては玉川（五・九ポイント）、現原（五・六ポイント）、立花（五・〇ポイント）手賀（三・二ポイント）と前回を上回っています。

一世帯あたりの構成人員で



国民年金だより

生涯続く「減額された額」

くり上げ請求

国民年金の老齢年金と通算
老齢年金は、六十五歳から支給されます。
しかし、年金を受ける条件を満たしていれば六十歳から六十四歳までの間なら、いつでも希望するときにくり上げて支給を受けられます。
ただし、くり上げ請求による年金額は次の表のとおり減額されます。

年金の支給希望年齢	減額される率
六十歳	四二%
六十一歳	三五%
六十二歳	二八%
六十三歳	二〇%
六十四歳	一一%

いったんくり上げ支給を受けると、この減額は生涯続く

取り消しができません。くり上げ支給を請求するときはよく考えてからにしてください。

保険料は所得控除に

昭和五十五年中に納めた国民年金の保険料は、課税の対象となる総所得額から「社会保険料」として控除されます。年末調整などの税金の申告をされる場合には、忘れずに申告しましょう。

年賀状をお出しに

なるときは

○あらかじめ方面別に区分けは、方面別（「町内あて」「自県あて」「他県あて」）に分け、

○あらかじめ方面別に区分けを
年賀状をお出しになるときは、方面別（「町内あて」「自県あて」「他県あて」）に分け、

新サービスに

「深夜割引」が新しく
できました

昭和五十五年十一月二十七日から、電話の通話料に「深夜割引」が新しくもうけられました。また、いままでの「夜間割引」の時間帯が拡大されました。

☆「夜間割引」の時間帯が2時間延長に
いままで、60キロメートルを超える区間について午後8時から翌日午前7時までの間「夜間割引」（4割引）されていたが、時間帯が前後それぞれ1時間のびて午後7時から翌日午前8時までとなりました。

☆「深夜割引」が新設に
320キロメートルを超える遠距離区間には、午後9時から翌日午前6時までの間新しく「深夜割引」（6割引）がもうけられました。石岡電報電話局

公民館俚謡講座

兼題「終」字詠込

長い祝辞が終ってほんと
冷えた酒注ぐ披露宴 青
檜舞台に終止符打って 王
は退場さわやかに 令音
年は暮れても俚謡のみちは
終らないのが謡ごころ 治水
今日も無事故で駅長さんが
ほっと見送る終電車 正花
これで終りは口ぐせだけど
女房つられて出した酒 常山
旅が終ってみないそくと
土産かかえてお世話さま
暮れの賞与をしつととたい
故郷へとび乗る終列車 藤娘
酒の梯子でつい夜を更かし
やっと間にあう終電車 豊山

兼題「始」字詠込

道で始めて声かけられて
頬に紅さす恋心 信蔵
じつと見守る家族の顔に
歩き始めた孫の足 尚詩
出合い始めに笑った顔の
えくぼに残る人 かもめ
始めましてと赤らむ顔で
交わす見合の顔と顔 幾代
勝つと思って始めた筈が
いつも負けてるへボ将棋

工業統計調査にご協力を

製造業の皆さん、通商産業省では昭和五十五年十二月三十一日現在で昭和五十五年工業統計調査を実施します。
この調査は、製造業を営むすべての事業を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の実態を明らかにすることを目的としています。
工業統計は、国や地方公共団体の産業構造政策、立地、水資源対策、中小企業施策などの立案のための基礎資料として用いられるほか、一般企業の需要予測、設備投資計画など広範に利用されています。



母子・寡婦福祉資金

のご利用を

▼母子福祉資金

母子家庭の経済自立をはかり、扶養している児童の福祉を増進するために、この制度は、物的担保を必要としない利子も安くて特別の配慮がされていますのでお気軽にご利用なさってください。

○貸付対象者

配偶者と死別及び生別した女性の方等で、現に二十歳未満の児童を扶養している者

○貸付金の種類

- 事業開始資金、修学資金、修業資金、就職支度資金、生活資金、住宅資金

所には、年末年始にかけて調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力をお願いします。
なお、調査票に記載された内容は、外部には絶対おぼしませんが、安心して記入ください。

▼寡婦福祉資金

児童が二十歳をこえるため母子福祉資金貸付の対象とならない四十歳以上の寡婦世帯に対して、もうけられたものです。貸付資金の種類は、母子福祉資金に定められたもののほかに結婚資金を加えた十二種類です。

申込み及びくわしいことは役場町民課へお問合せください。

（善）意（の）窓

農村青少年クラブ（飯田義彦会長）より、産業文化祭での農産物展示即売会での売上げ金から、七万一千七百四十六円が町の善意銀行へ寄付されました。



町民課をおとずれ、売上げ金の一部を寄付するクラブ員

席題「大根」

紅の櫓が漕ぐ大根舟 恋の
小唄も乗せてくる 乙音
今年や大根自慢の出来は
おらが娘の脚ほどに 正花
干した大根障子に写る 日
毎日ざしに細る影 幾代
首を伸ばして大根がのぞき
や 蛙急いで冬ごもり

町のスーパー切売りしてる
大根半分味気ない 夜蝶

次回講座

○十二月二十日 午後一時
○玉造町中央公民館

電話呉れたで始めて知った
孫は数字を習ってる 常山
豊山

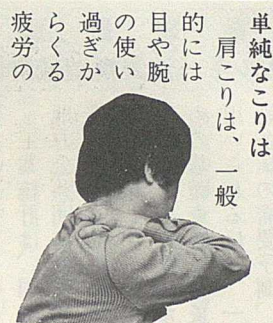
席題「額（がく）」

額の写真を見上げて偲ぶ
今は帰らぬ母の顔 まさお
額のガラスもいつしかくも
る 辞めて八年感謝状 翠峰
額に納めた笑顔の亡母（は
は）が 語りかけそな三回忌
奥の座敷に謎投げかけて
じつと見ている額の文字 尚詩

いつも家族を見ていて呉れ
る額は長押の肖像画 夜蝶

くちしの豆知識

肩こり



肩こりを訴える小
学生もいる——とい
うほど現代生活には老若男女
を問わず、肩こりで悩む人が
ふえています。ひどくならな
いように、まめに「こり」を
ほぐしましょう。

休・祭日当番医

12/28	日曜日	金塚医院 ☎⑤0556
1/1	元日	根本医院 ☎⑤0538
1/2	金曜日	関野医院 ☎⑥0102
1/3	土曜日	塙医院 ☎⑤0044
1/4	日曜日	方波見医院 ☎⑤0551
1/11	日曜日	金塚医院 ☎⑤0556

(診療時間) 午前9時～午後4時まで

あらわれで、肩から首へかけ
ての筋肉の使い過ぎと血行が
不十分なために起きます。ス
トレスなど精神の緊張が続い
たり、一日中細かい数字や文
字を扱う仕事をしたり、たま
に根をつめて洋裁などをやっ
た後などによく起きます。病
気ではありませんが、ほうっ
ておくと無理が重なり、肩の
筋肉が板のように固くなりそ
のうち頭痛や吐き気をもよお
すなど症状が悪化しますから
気をつけましょう。

肩こりをほぐすには
十分な睡眠や休息をとり適
度な運動を行う——これは常
識ですが、大切なことです。
時間を決めて、一日に何回か
腕や首をぐるぐる回したり肩
を上げ下げする運動を規則的
にすると効果があります。散
歩や軽いなわとびもよいでし
ょう。また、はり薬、指圧、
針、入浴なども肩こりを楽に
します。食事の面では、新陳
代謝を促すビタミンCに気を
配り、新鮮な果物や野菜の摂
取につとめましょう。

ガンコな肩こりは
何をやってみても肩のこり
がほぐれず、痛みや息苦しさを
感じるような時は病気が内
在することも考えて、病院や
診療所で診てもらいましょう。

誕生おめでとう
お祝いします



出産

〈10月〉

根	浜	里	横	中	荒	小	西	浜	舟	西	下	里	川	加	浜	八	小	小	八	沖	と
古			町	山	宿	座	谷		津	蓮	宿	向	茂	茂	八	木	座	座	木	洲	ころ
屋																					
坂	鈴	代	鈴	石	栗	堀	山	高	磯	根	森	高	鈴	栗	佐	小	山	山	貝	橋	保
本	木	城	木	川	原	田	口	須	山	崎	作	橋	木	野	木	沼	口	口	塚	本	護
勝	春	久																			者
幸	雄	雄	栄	力	章	功	三	茂	泰	夫	男	夫	資	孝	夫	之	二	二	男	廣	
長	長	二	二	二	二	二	二	長	長	長	長	長	長	長	二	二	長	二	長	続	柄
女	女	女	女	女	男	男	女	女	女	男	男	男	男	男	女	男	男	男	男	女	
美	千	清	朝	康	幸	由	美	竜	由	晴	克	真	展	真	真	雅	千	赤			
樹	尋	美	子	光	子	子	紀	也	香	人	哉	理	之	弓	一	人	子	加	ち	ん	

おんやみき
申しあげます



死亡

〈10月〉

菅	池	堀	中	中	小	鈴	森	高	氏
谷	島	江	村	田	島	木	作	野	
ト	く	千	圭	そ	き	つ	け	ま	名
ク	に	代	介	て	ぬ	ね	い	子	
七	七	四	九	八	六	八	五	年	
八	三	八	〇	三	九	二	八	齢	
芹	藤	上	諸	谷	上	谷	沖	と	
沢	井	宿	井	島	宿	島	洲	ころ	

電話のじょうずな使い方

シリーズ⑥



石岡電報電話局

編集後記

師走も半ば過ぎ、今年も残り
すくなくなくなりました。一年
間のしめくりとして、広報
に見る「こしの町の主なで
きごと」を二・三ページに載
せました。ふりかえってみる
と、さまざまなことが思い出
されます。みなさんのそれぞ
れ一年間の経過も、日記帳や
手帳のページをめくると、は
っきりとたどることができ
ると思います。そして、一つ
の目標や計画をたてながら、こ
とし完遂できなかった方、実
行できなかった方は「来年こ
そは！」と再ちよう戦を心に
誓って、どうぞみなさんよい
お年をお迎えください。

途中で切れたら、かけ
た方からかけなおす

昭和三十八年一月二十三日第三種郵便物認可 定価一〇円

発行人 茨城県玉造町長

編集

企画商工課

印刷

懶さんゆう社印刷